

令和3年9月22日

川西市議会議長

平岡 譲 様

建設公企常任委員長

松隈 紀文

### 委員会報告書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、別紙のとおり決定したので、会議規則第101条の規定により報告します。

建設公企常任委員会における審査の経過と結果について（審査日：令和3年9月9日）

1. 議案第52号 市道898号橋梁補修工事請負契約の締結について

議案第52号の概要

本案は、契約締結の日から令和4年3月31日までを工期とする市道898号橋梁補修工事（一庫新橋1号橋、2号橋）（その2）を実施するため、工事請負契約を締結しようとするもの。

質疑の概要

問 当該補修工事については、出水期の工事を避けるため2回に分割して発注したことは理解するが、発注先を同一業者とすることで、価格面での効果や施工品質の確保が期待できると考える。今回、契約の相手方を別々の業者とした理由を伺いたい。

答 今回の補修工事は、上部工と下部工を同時並行で行うことが困難であるため、出水期を考慮した上で分割して発注することとしており、昨年度施工した「その1」では上部の車道など市内業者が受注可能な内容で工事を行い、今回の「その2」では、橋脚の耐震補強など専門知識や技術を要するため、市外の業者が落札したものである。

また、財源が単費であれば継続費を設定して同一業者に一括して発注することが可能であるが、本件は予算単年度主義をとる国の補助金を活用するため、重複する工事が発生しないように工種分けを行ったうえで、市内業者の育成や国費の獲得も考慮した結果、今回のような契約となったものである。

問 本橋梁の補修工事における入札参加資格について伺いたい。

答 2回の工事とも制限付き一般競争入札で、「その1」は工事内容から判断して市内業者のみとする制限を設けたが、今回の契約では耐震補強等の工事内容に鑑み、一定の施工実績や「総合評定通知書においてプレストレストコンクリート工事の経営総合評定値が750点以上の者」などを参加資格としたところである。

問 本補修工事は道路橋長寿命化修繕計画に基づき実施した定期点検の結果をもとに実施するものと理解している。一般的にコンクリート橋の耐用年数は50～60年とされている中で、一庫新橋は供用開始から既に40数年が経過しているが、長寿命化修繕計画では架け替えより改修を得策とする論拠が明確でないことから、どれほどの長寿命化が図られるのか市の見解を伺いたい。

答 長寿命化が図られる期間については、経年による疲労破壊等の程度にもよるため明言することは困難であるが、現時点では、長寿命化修繕計画に基づき市内約200橋

に対して5年に1回の点検を実施することとしており、国の制度等も活用しながら、橋梁の重要性や破損状況に応じた比較を行い、効率的な維持管理に努めることで、今後100年間で全体工事費を41%縮減することを目指している。

問 当該橋梁付近では今後、近隣の新規物流センター稼働により交通量や走行車両の変容が予想されるが、そういった視点は今回の工事に加味されているのか伺いたい。

答 補修工事の設計においては、通過台数は加味していないものの、大型車両の通行にかかる荷重は積算対象としている。

#### 特記事項

配付資料あり(1.入札結果について ほか)

審査結果 原案可決(全員賛成)

## 2. 議案第53号 市道1449号橋梁補修工事請負契約の締結について

#### 議案の概要

本案は、契約締結の日から令和4年3月31日までを工期とする市道1449号橋梁補修工事(知明さくら橋)(その2)を実施するため、工事請負契約を締結しようとするもの。

#### 質疑の概要

問 本件についても、議案第52号と同様に昨年度と今年度に工事を分割発注しているが、その理由を伺いたい。

答 本補修工事についても出水期の回避が2回に分けた理由の一つである。また、昨年度実施した工事は、一般的な土木業者が路面から施工可能な工事であり、今回はボルトの取り替えや塗装など専門性が高い工事であることから、橋梁の専門業者による施工が必要といった点に鑑み、分割して発注するものである。

問 本案及び議案第52号の補修が完了した時点における道路橋長寿命化修繕計画の進捗状況について伺いたい。

答 令和2年度末時点で計画の約43%は実施済みであり、健全性の判断区分「早期措置段階」に該当する橋梁は、この2橋の工事を行うことにより1橋を残すのみとなる。

問 当該橋梁は景観の優れた地域にあり、土地勘のない観光客等が工事を知らずに訪れる可能性がある。市の説明では、工事中は足場設置により道路幅員が狭くなることから、ガードマンを配置し十分な安全対策に努めるとのことだが、その周知について具

<p>体的な計画はあるのか伺いたい。</p> <p>答 近隣には兵庫県立一庫公園があり、多数の来園者の通過が予想されることから、同公園の入り口付近の知明りんどう橋から看板等により注意喚起するとともに、工事対象の知明さくら橋の手前でも注意を促す予定である。また、北の猪名川町方面の国道から進入する場合には本市との境界付近のほか、一庫ダム下流方面から進入する場合については堰堤周辺から周知する考えである。</p>
<p>特記事項</p> <p>配付資料あり（１．入札結果について ほか）</p>
<p>審査結果 原案可決（全員賛成）</p>

3．議案第56号 令和3年度川西市一般会計補正予算（第5回）

<p>議案第56号の概要</p> <p>第1表 歳出第8款土木費。</p>
<p>質疑の概要</p> <p>問 公共交通支援事業において、（仮称）川西市地域公共交通計画策定支援業務に係る継続費の年割額の変更に伴い委託料74万5000円を減額しようとする理由は、上位計画である総合計画の策定を1年遅らせるためとのことであるが、今回の判断に至った経過について詳細を伺いたい。</p> <p>答 （仮称）川西市地域公共交通計画は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が改正されて作成が努力義務化されたもので、本市においても、現在の川西市公共交通基本計画の目標年次である令和4年度から当該計画へ移行させるべく手続きを進めきた。しかしながら、上位計画である総合計画の策定を1年遅らせることを受け、まちづくりと連携した地域公共交通ネットワーク形成の検討を要する当該計画も併せて遅らせることとしたものである。</p>
<p>特記事項</p> <p>なし</p>
<p>審査結果 原案可決（全員賛成）</p>